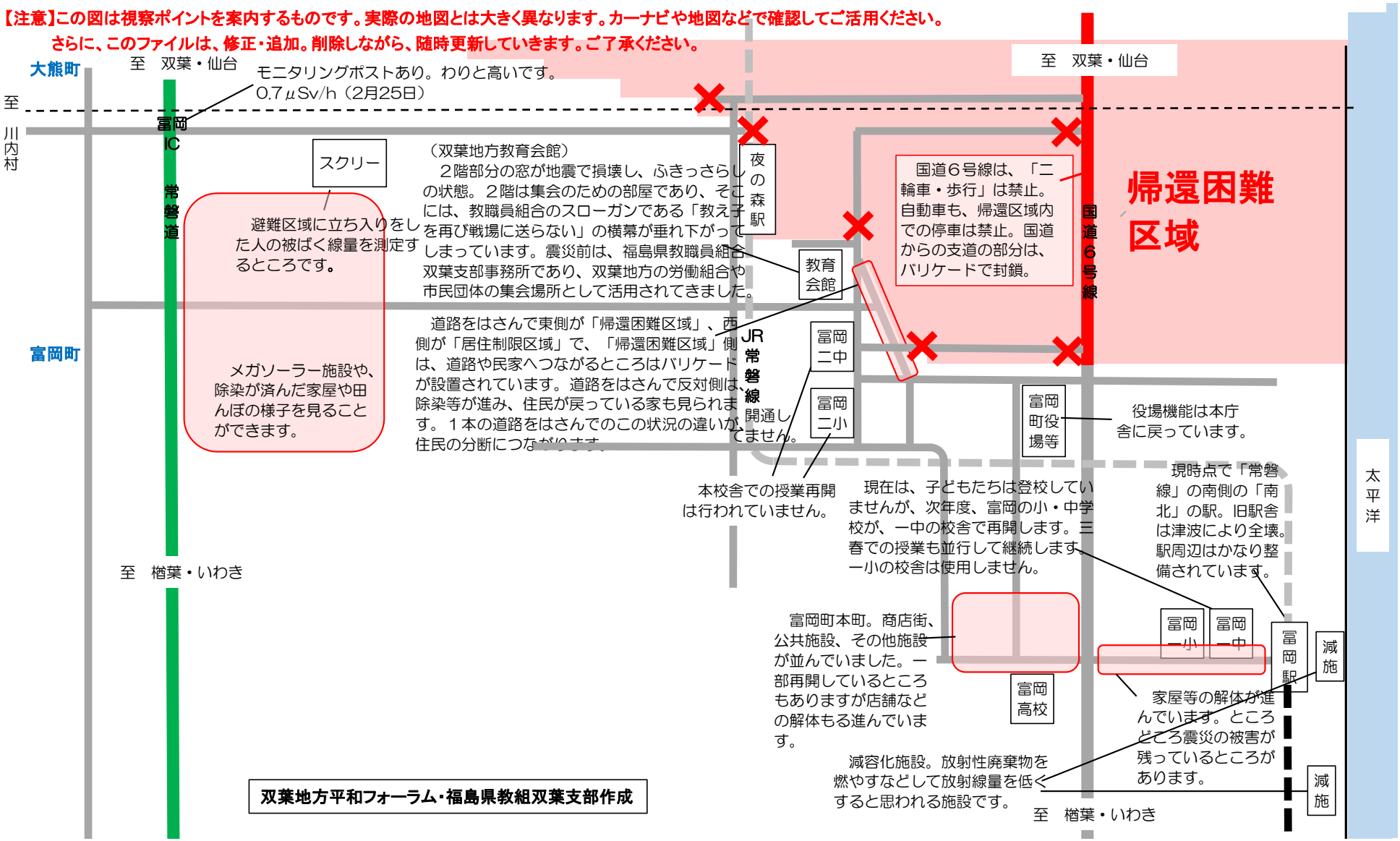
【注意】この図は視察ポイントを案内するものです。実際の地図とは大きく異なります。カーナビや地図などで確認してご活用ください。
さらに、このファイルは、修正・追加。削除しながら、随時更新していきます。ご了承ください。
大熊町
至　双葉・仙台
モニタリングポストあり。わりと高いです。
0.7μSv/h（2月25日）
至
川内村
富岡IC
常磐道
スクリー
避難区域に立ち入りをした人の被ばく線量を測定するところです。
メガソーラー施設や、除染が済んだ家屋や田んぼの様子を見ることができます。
富岡町
至　楢葉・いわき
（双葉地方教育会館）
２階部分の窓が地震で損壊し、ふきっさらしの状態。２階は集会のための部屋であり、そこには、教職員組合のスローガンである「教え子を再び戦場に送らない」の横幕が垂れ下がってしまっています。震災前は、福島県教職員組合双葉支部事務所であり、双葉地方の労働組合や市民団体の集会場所として活用されてきました。
道路をはさんで東側が「帰還困難区域」、西側が「居住制限区域」で、「帰還困難区域」側は、道路や民家へつながるところはバリケードが設置されています。道路をはさんで反対側は、除染等が進み、住民が戻っている家も見られます。１本の道路をはさんでのこの状況の違いが、住民の分断につながります。
夜の森駅
教育会館
JR常磐線
富岡二中
富岡二小
開通してません。
本校舎での授業再開は行われていません。
至　双葉・仙台
国道６号線は、「二輪車・歩行」は禁止。自動車も、帰還区域内での停車は禁止。国道からの支道の部分は、バリケードで封鎖。
国道６号線
帰還困難区域
富岡町役場等
役場機能は本庁舎に戻っています。
現在は、子どもたちは登校していませんが、次年度、富岡の小・中学校が、一中の校舎で再開します。三春での授業も並行して継続します。一小の校舎は使用しません。
現時点で「常磐線」の南側の「南北」の駅。旧駅舎は津波により全壊。駅周辺はかなり整備されています。
富岡町本町。商店街、公共施設、その他施設が並んでいました。一部再開しているところもありますが店舗などの解体もる進んでいます。
富岡高校
富岡一小
富岡一中
富岡駅
減施
家屋等の解体が進んでいます。ところどころ震災の被害が残っているところがあります。
減容化施設。放射性廃棄物を燃やすなどして放射線量を低くすると思われる施設です。
減施
至　楢葉・いわき
太平洋
双葉地方平和フォーラム・福島県教組双葉支部作成